

日本文化の心

米国のスポーツエリートが学ぶ

スタンフォード大学マインドフルネス教室の講師
来日特別講演

7月15日

SUN

15:30~17:30

開場 15:00

定員150名(先着順)

関西大学梅田キャンパス 8F Me RISE ホール

スティーブン・マーフィ重松氏

STEPHEN MURPHY-SHIGEMATSU

日本生まれ、米国で育つ。1987年ハーバード大学で教育学博士号取得。東京大学留学生センター・同大学大学院教育学研究科助教授、スタンフォード大学医学部特任教授、教育学部客員教授を歴任。現在同大学医学部健康と能力開発センターでマインドフルネスをベースに生きる力、グローバルスキルを高める教育者として国際的に活躍している。著書に『From Mindfulness to Heartfulness: Transforming Self and Society with Compassion』(2018年)『スタンフォード大学 マインドフルネス教室』(2016年)『When Half Is Whole: Multiethnic Asian American Identities』(2012年)『Multicultural Encounters: Cases Narratives from a Counseling Practice』(2002年)、『多文化間カウンセリングの物語(ナラティブ)』(2002年)、『アメラジアンの子供たち - 知られざるマイノリティ問題』(2002年)などがある。

主催：関西大学人間健康学部

【お申込み】
関西大学人間健康学部ホームページ
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/

【お問合せ】
堺キャンパス事務室
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
(FAX) 072-229-5083
(Eメール) sakai-info@ml.kandai.jp

TALK ABOUT

マーフィ重松先生は、スタンフォード大学でマインドフルネスを中心に健康教育を専門に教える心理学者です。著書「スタンフォード大学 マインドフルネス教室」のなかでマーフィ重松先生は、大事な試合でキックをミスしどん底を経験したある花形フットボール選手の物語を紹介しています。マインドフルネスを通して、弱さや傷つきをもったあるがままの自分を受け入れることを学んだ彼は、初心(Beginners Mind)に戻り練習を重ね、大試合で見事に復活を遂げます。

大学スポーツのあり方が問われている昨今、マーフィ重松先生のお話から、スポーツを通して人は何を学ぼうとしているのか、そして何を教えるべきかを、あらためて考えていきたいと思えます。

英語のマインドフルネスを表す日本語の「念」は、「今」と「心」という字から成り立っています。アイルランド人の父と日本人の母をもつスティーブン・マーフィ重松先生は、日本文化に深く根ざした「心」にこそ、真のマインドフルネスを見出す大切な知恵があると言います。このトークでは、スティーブン・マーフィ重松先生が他者や自然とのつながりに心を行き渡らせ「ハートフル」であるための8つの原理を語ってくれます。